



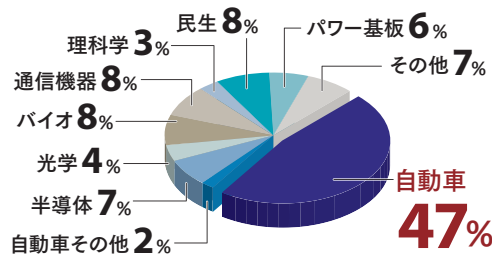
フェローテックホールディングス



精緻な温度制御が可能なサーモモジュールの用途が拡大している

# サーモモジュールが 切り拓く新たな未来へ

サーモモジュールの業界別販売先シェア



代表取締役副社長  
山村 丈

## 異

なる2種の金属を交互に並べ電流を流すと、一方は熱く、もう一方は冷たくなる「ペルチェ効果」。この原理を使った電子部品「サーモモジュール」が、ワインセラーやドライヤーなど、身近な電気製品に搭載されている。

この最新技術で、フェローテックは、長い経験と幅広い用途開発を生かして、次世代を切り拓こうとしている。

同社は、密閉のための真空シールなど、半導体製造装置等のパーツで独自技術を持つ部品メーカー。シリコンウエーハ事業も好調で、中国の旺盛な需要に応える生産設備増強に向けて、今年4月に第三者割当新株予約権を発行した。サーモモジュールは、その同社が、主力事業として約30年をかけて育ててきた。近年は、自動車の座

席にモジュールを組み込んだ温度シートが日米欧の高級車に採用され、市場を広げている。

同社のサーモモジュールは、全数検査を経た高い品質が特徴だ。製品メーカーのニーズに応じたカスタム設計、単体のモジュールに放熱器やファンを組み合わせたユニットでの販売を推進。納入先と密接な関係を築き、高付加価値化を図っている。今後は、小型軽量で、プラスチック・0.05度レベルの精緻な温度制御が可能な冷却・加熱・恒温という特性を生かし、通信機器をはじめ精密電子機器を安定稼働させるための局所的な温度管理用途での拡大を見込む。電気から冷熱を生むのと逆方向に、温度差による発電など、この技術にはまだ多彩な可能性が眠っている。

山村丈副社長は「IoT時代に向けて日本では2020年に次世代(5G)移動通信ネットワークのサービス開始が予定されています。この切り替えに伴う通信機器需要も取り込みたい」と、サーモモジュールによる社業の一層の飛躍を期している。

制作・東洋経済企画広告制作チーム

フェローテックホールディングス

東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5F

tel. 03-3281-8808 (代表)

<http://www.ferrotec.co.jp/>